

米国 フロリダ州の2023-24年度産柑橘類は増加の予測

The Packer 2023年11月27日

米国農務省の11月の作物生産レポートによると、フロリダ州の柑橘類の生産量が今年には増加する。

2023-24年度のフロリダ州の全オレンジの予測出荷量は、昨シーズンの最終出荷量から30%増の2,050万箱と推定される。報告書によると、この合計は750万箱の非バレンシア種(早生、中生、ネーブル種)と1,300万箱のバレンシア種から成っている。ネーブル種は30万箱で、非バレンシア種の4%を占める。

グレープフルーツ全体の予測出荷量は、昨シーズンの181万箱から5%増の190万箱で前回予測から持ち越された。報告書によると、その内訳は赤肉種が165万箱、白肉種が25万箱となっている。タンジェリンとタンジェロの予測出荷量は50万箱で、昨シーズンの48万箱より4%多い。

収穫シーズンは、主に生鮮市場向けのネーブルオレンジとハムリンオレンジ、赤肉種のグレープフルーツ、フォールグロ品種とアーリーブライド品種のタンジェリンから始まった。(予測出荷量は10月予測と変わりません。)

執筆者: トム・カースト

(関連記事)米国 柑橘類出荷量予測

米国農務省農業統計局(2023年11月9日)

フロリダ州農業消費者サービス局との共同発表

柑橘類の種類別出荷量及び予測出荷量 - 州別及び米国計

種類及び州	出荷量 ¹			予測出荷量 ^{1,2}
	2020-2021 (1,000箱)	2021-2022 (1,000箱)	2022-2023 (1,000箱)	2023-2024 (1,000箱)
バレンシア種以外のオレンジ³				
フロリダ州	22,700	18,250	6,150	7,500
カリフォルニア州	41,300	31,500	36,500	37,000
テキサス州	1,000	170	570	450
米国計	65,000	49,920	43,220	44,950
バレンシア種のオレンジ				
フロリダ州	30,250	22,950	9,650	13,000
カリフォルニア州	7,700	7,600	6,700	7,500
テキサス州	50	30	560	350
米国計	38,000	30,580	16,910	20,850
オレンジ合計				
フロリダ州	52,950	41,200	15,800	20,500
カリフォルニア州	49,000	39,100	43,200	44,500
テキサス州	1,050	200	1,130	800
米国計	103,000	80,500	60,130	65,800
グレープフルーツ				
フロリダ州合計	4,100	3,330	1,810	1,900
赤肉系	3,480	2,830	1,560	1,650
白肉系	620	500	250	250
カリフォルニア州 ⁴	4,200	4,100	4,000	3,500
テキサス州	2,400	1,700	2,250	2,200
米国計	10,700	9,130	8,060	7,600
レモン				
アリゾナ州	750	1,250	1,400	1,500
カリフォルニア州	21,400	25,200	26,500	23,000
米国計	22,150	26,450	27,900	24,500
タンジェリン及びマンダリン⁵				
フロリダ州	890	750	480	500
カリフォルニア州	28,800	17,500	23,700	23,000
米国計	29,690	18,250	24,180	23,500

¹ 1箱当たりの正味重量(ポンド) オレンジ: カリフォルニア州 80、フロリダ州 90、テキサス州 85。グレープフルーツ: カリフォルニア州及びテキサス州 80、フロリダ州 85。レモン: 80。タンジェリン及びマンダリン: カリフォルニア州 80、フロリダ州 95。

² 10月の予測を持ち越し

³ フロリダ州では非バレンシアの早生品種(ネーブル種を含む)及び中生品種。カリフォルニア州ではネーブル種及びその他の品種。テキサス州では早生品種及び中生品種。

⁴ カリフォルニア州ではボメロを含む。 ⁵ タンジェロを含む。